

合言葉
やる気
がんばり
思いやり



第11号
令和3年12月発行
宇都宮市立豊郷北小学校
校長 麦倉 克英
028-665-0205



<http://www.ueis.ed.jp/school/toyosato-n/>
学校の様子はホームページから

1年の締めくくりに

多くの事を掴まんとせば、
その枝を葉茂させなければならぬ。
その根を培養せねばならぬ。
その根を培養せねばならぬ。

旧渋沢邸「中の家」
にて撮影 →



左の言葉は渋沢栄一によるものです。彼の玄孫である渋澤健さんはこの言葉について著書『渋沢栄一100の訓言―「日本資本主義の父」が教える黄金の知恵』の中で、次のように解説しています。

◇「なるべく多くの成果を得たいと思うなら、そこに至る過程をしっかりと築かなければならない。過程をしっかりと築こうと思うなら、そのための基礎を固めなければならない。」

このように現代語訳になるとより理解が進みます。渋沢の金言に皆さんはどのようなことを考えるでしょうか。学校での学習に当てはめると、“基礎・基本をしっかりと”というフレーズが浮かびます。生活面で言えば“基本的な生活習慣”でしょうか。子供は、常に大人が描くとおりの成功する訳でなく、あるいは期待どおり一足飛びに成長する訳ではありません。学校としましては6学年という発達段階の異なる子供に応じて、今必要なことをしっかりと見定めて指導していきたいと考えます。

まもなく2021年(令和3年)が終わります。ご家庭においても冬休みに親子共に今年1年間でお子様成長したところ、できるようになったことなどを振り返り、大いに認め励まし、新しい気持ちで新年を迎えられるようにしていただきたいと思います。

ありがとうプロジェクト

過日、農業体験やおはなし宅級便など児童の豊かな心を育む教育活動等にご支援いただいている方々へ礼状を含むプレゼントを作成し、お渡ししました。

10月から少しずつ各学級で準備をして、最後は縦割り班で一つの封筒にまとめました。



そして、11月26日(金)の給食では、先頃全児童で収穫したもち米とサツマイモを使ったおこわを提供しました。児童はそれをラップに包み、思い思いの形のおにぎりにして食べました。食をとおして収穫の喜びを実感するとともにお世話になった方へ感謝するひと時でした。



あいさつができる豊北っ子を目指して

本紙11月号にてあいさつ標語の審査・選考の結果についてはお知らせしたところですが、この度、4つの優秀作品を横断幕ののぼり旗にしました。

そこで、12月1日(水)の一斉下校の時間前を活用し、地域協議会委員をお招きして表彰式とお披露目会を行いました。地域協議会長から賞状を伝達し、副会長からののぼり旗を寄贈しました。その後、校舎3階のベランダに掲げた横断幕の除幕を行いました。

のぼり旗は早速、校内数か所に置くとともに、応募していただいた児童と保護者の標語全作品を掲示しました。

あいさつが上手にできる児童が少しずつ増えていくと実感しています。ただし、自らあいさつができなかったり、顔を知らない来校者に黙っていたりする実情が見られます。これを機に、様々な場面にに応じて明るくそして、さわやかにあいさつができる児童を育てていきたいと考えます。



表彰式とお披露目の模様を宇都宮ケーブルテレビが取材に訪れ、12月13日から1週間放映されました。

後日、学校に放映内容のDVDが届きますので、給食時の校内放送で視聴する予定です。



宮っ子伝統文化体験教室/ふくべ細工づくり

12月9日(木) 2校時 4年生

市内で伝統工芸品を取り扱う「ふくべ洞」さんに来校いただき、ふくべ細工作りに挑戦しました。はじめに、ふくべの意味や工芸品となった歴史などの話を聞きました。

次に、様々な形をしているふくべの中からお好みの物を選び、事前に考えた下絵を基にして、色を付けました。伝説の百目鬼(どうめき)を基にした魔除けの面に似せた物もありましたが、動物やキャラクターを連想させる物まで次々と出来上がりました。

仕上げのニス塗りは講師の方をお願いしましたが、作品を見ながら「豊北の4年生は発想が豊かです」と感心していました。



ふれあい文化教室/宮ジャズでスイング

12月9日(木) 3・4校時 6年生

昨年に引き続き、市教委文化課をととして、「うつのみやジャズのまち委員会」から4名の方に来校いただき、ジャズの魅力と表現の豊かさを学びました。楽器は、ギター、ベース、フルート、ドラムの編成でしたが、生演奏が体育館に響いてまるでライブハウスで聴いているようでした。

曲目はスタンダードナンバーをはじめ、児童がよく知る最近のヒット曲がありました。途中で児童が練習したリコーダー曲とセッションしたり、校歌の演奏をバックに口ずさんだりと表現する楽しさも味わいました。



校内人権週間/ありがとうの木を育てよう

12月6日(月)～17日(金)

本校は人権週間を独自に2週間を設定しました。この間、児童会実行委員による人権集会の開催、「ありがとうの木を育てよう」プロジェクトの実施、人権に関する図書コーナーの設置や読み聞かせなどの取組をしました。なかでも、昇降口に掲げた「ありがとうの木」(右写真)に、友達のよいところや頑張っているところを書いたカードが日ごと増えていることを微笑ましく感じました。

大切なことは、教職員や児童が日頃から一人一人の違いやよさを認め、共に生活しようとする意識を醸成することです。引き続き、心優しい豊北っ子の育成に努めていきます。



12月17日午後現在

宇都宮のよさを学ぶ/校外学習

12月17日(金) 3年生

— 子ども総合科学館、大谷寺、大谷資料館 —

午前中は昼食まで科学館で過ごしました。久しぶりに訪れた児童がほとんどで体験をおしながら科学のおもしろさを味わいました。

午後は歴史と文化に触れる学習でした。3年生は社会科などで市内の地理や産業について学習していますが、最近再び脚光を浴びている大谷地区を見学したことで新たな発見があったように思います。



レッツ・トライ! フラワーアレンジメント

12月17日(金) 6年生

昨年に引き続き、地域のユリ生産者である小池一構さんはじめ県河内農業振興課、JA うつのみやなどのご協力とご支援によりフラワーアレンジメント講座が実現しました。学級ごとに行い、約50分間美しい花と向き合いました。

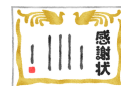
アレンジのやり方は、フラワーショップ「花いちもんめ」代表の高橋裕子さんに教えていただきました。試行錯誤する場面も見られましたが最後には参加者全員が見事な作品に仕上げました。3月卒業の声じわじわ聞こえ始める6年生には思ひ出の1ページができたことでしょう。



【ご報告：お世話になっています】

日頃から学校教育への支援や地域における子供の育成活動を実践している功績が認められ、この度、市教育長から以下2名の方へ「教育支援者感謝状」が贈られました。学校としても感謝申し上げます。

- ・小池 啓一 様 (農業ボランティア)
- ・相馬 幸夫 様 (同上)



この度、学校事務の辰巳睦月主事が産前休暇に入りました。後任として13日付で井上一之主事が着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

